

## 2022年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：公共経営論特論	
担当教員名：遠藤哲哉	
<p>授業科目概要：</p> <p>公共経営において、官僚制度やその中で事業を運営する官僚組織の在り方は、重要な研究課題である。すなわち、官僚主義を打破し、公共性に沿った成果を出し続けていく経営の在り方、組織マネジメント、リーダーシップなどがテーマとして挙げられる。今日、新しい行政経営、NPO・NGO、ボランティア組織を含むソーシャル・エンタープライズの台頭、市民事業などの展開は、新しい公共についての検討を私たちに迫るものである。しかし、必ずしも公共の経営について、自明ではない。特に官僚主義に陥らず、政策イノベーションに対応した公共経営における組織マネジメントやリーダーシップについて理論的に検討することが求められている。今日、NPM（ニューパブリックマネジメント）が、行政経営の領域において一つの大きな潮流になっているが、組織のフラット化、効率化の一方で、政策イノベーションや地域の諸課題に十分応えうる公共経営、組織論が提示されているとは言い難い。そこで、本科目では、近年企業経営のみならず、日本の公共政策領域においても注目を集めつつある諸理論をベースに、上述の研究課題にアプローチしていく予定である。Community Innovation、ソーシャル・イノベーション、市民協働・パートナーシップ、新しい人的資源管理の検討にも深く関係し、ソーシャル・キャピタル、実践コミュニティ、草の根イノベーションなどのコンセプトとも関係させながら明らかにしていきたい。</p>	
履修上の留意事項： 英語の文献を使用します。	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名 : Asian Villages Comparative Studies: Challenges and Opportunities in Pandemic Era</p> <p>著者／編者 : Tetsuya Endo et al.</p> <p>出版社 : Friedrich Ebert Stiftung</p> <p>出版年 : 2022</p>	<p>書名 : Practicing Servant-Leadership: Succeeding Through Trust, Bravery, and Forgiveness</p> <p>著者／編者 : Robert K. Greenleaf</p> <p>出版社 : Jossey-Bass</p> <p>出版年 : 2004</p>
<p>書名 : Communities of Practice: Learning, Meaning, and Identity (Learning in Doing: Social, Cognitive and Computational Perspectives)</p> <p>著者／編者 : Etienne Wenger</p> <p>出版社 : Cambridge University Press</p> <p>出版年 : 1999</p>	<p>書名 : A Compass to Fulfillment: Passion and Spirituality in Life and Business</p> <p>著者／編者 : Kazuo Inamori</p> <p>出版社 : McGraw-Hill</p> <p>出版年 : 2009</p>
<p>書名 : Masterful Coaching</p> <p>著者／編者 : Robert Hargrove</p> <p>出版社 : Pfeiffer</p> <p>出版年 : 1999</p>	<p>書名 : リーダーシップ研究の動向と課題『組織科学 VOL.43 2』</p> <p>著者／編者 : 淵上 克義</p> <p>出版社 : 文眞堂</p> <p>出版年 : 2009年</p>
評価方法及び判定基準：毎回の授業参加の程度、内容、また期末レポートを含めて総合的に評価する。	

授業目標及び進め方：

公共経営のあり方を、地域経営、自治体経営、地域リーダーシップや組織マネジメントの最近の動向を分析しながら、検討を加えていく。できるだけ、受講生が、主体的に授業に参加し、検討できるようにしていきます。基本のテキストは、履修生の希望も斟酌しながら、決めます。なお、授業は、Web 会議を活用した遠隔授業も予定します。

◆ 授業進行計画

<p>第1回 ～ 第6回</p>	<p>テーマ：Community Innovation, Servant Leadershipの検討 内 容： Community Innovation 及びサーバント・リーダーシップについて検討する。～サーバント・リーダーシップのコンセプトは、AT&amp;Tの幹部であったRobert K. Greenleafがまとめた‘Servant Leadership: A Journey into the Nature of Legitimate Power and Greatness’に詳しい。そこで、まず、Robert K. Greenleafの著書を中心に、サーバント・リーダーシップのエッセンスを把握する。なお、既存のリーダーシップ論の中で、どのような位置にあるかを、淵上克義「リーダーシップ研究の動向と課題」『組織科学 VOL.43 2』等を用いて把握する。これらを通して、リーダーシップ論の観点から、公共経営についての在り方について、検討を深める。 教科書／参考書 「リーダーシップの社会心理学」（淵上克義） 「サーバント・リーダーシップ入門」（金井壽宏・池田守男） 「リーダーシップの旅」（野田智良・金井壽宏）</p>
<p>第7回 ～ 第9回</p>	<p>テーマ：Passion and Spirituality in Life and Businessの検討 内 容： サーバント・リーダーシップのベースになっているのは、Passion and Spiritualityであろう。この観点を共有すると思われる経営人として、Kazuo Inamoriがいる。彼の実践は、沢山の本にまとめられているが、英文にもなっている‘A Compass to Fulfillment: Passion and Spirituality in Life and Business’を手掛かりに、欧米人にも共有された考え方と実践について、検討を行っていく。氏の提唱している経営哲学と経営管理システムは、公共経営においても、重要な示唆を与える。 教科書／参考書 「ソーシャル・キャピタル」（ウェイン・ベーカー） 「アメーバ経営」</p>
<p>第10回 ～ 第13回</p>	<p>テーマ：In search of Excellent Public Organizationの検討 内 容： 以上の諸検討をベースに、官僚主義から脱却し、エクセレントな公共経営を行う経営哲学と経営管理システムについて、欧米の事例を含めながら検討する。今日、実践コミュニティ（Etienne Wenger, ‘Communities of Practice: Learning, Meaning, and Identity’）やソーシャル・キャピタルへの注目が高まってきている。よりヒューマンファクターを重視したモデル構築の可能性を公共経営における組織戦略の観点から検討する。その際、リーダーシップ論とも関係するコーチングの考え方や方法を、Robert Hargroveによる‘Masterful Coaching’によって理解する。 教科書／参考書 「コミュニティ・オブ・プラクティス」（ウエンガー） 「人勢塾 ポジティブ心理学が人と組織を鍛える」（金井壽宏） 「全体最適の問題解決入門～『木を見て森も見る』思考プロセスを身につけよう！」（岸良祐司） 「インナーワーク」（T.ガルウェイ）</p>